

1. 略歴

1985年3月	九州大学文学部史学科朝鮮史学専攻卒業
1987年3月	九州大学大学院文学研究科（史学専攻）修士課程修了
1989年3月	九州大学大学院文学研究科（史学専攻）博士後期課程中途退学
1989年4月	九州大学文学部助手（～1992年3月）
1992年4月	久留米大学文学部専任講師（～1995年3月）
1995年4月	久留米大学文学部助教授（～1996年3月）
1996年4月	九州大学文学部助教授（～2000年3月）
2000年4月	九州大学大学院人文科学研究科助教授（～2002年3月）
2002年4月	東京大学大学院人文社会系研究科助教授（～2007年3月）
2007年4月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授（～2015年3月）
2015年4月	東京大学大学院人文社会系研究科教授（現在に至る）

2. 主な研究活動

a 専門分野

朝鮮中世・近世史

b 研究課題

朝鮮王朝（1392-1910）時代の水運史や財政史・経済史などを中心に研究している。現在の主たる研究課題は、(1) 朝鮮前期漕運制研究、(2) 朝鮮中世・近世海事史研究、(3) 朝鮮中世・近世「水環境」研究、(4) 朝鮮時代財政史研究、(5) 朝鮮時代古文書研究などである。(1)の漕運制とは朝鮮時代における官営の税穀船運機構であり、朝鮮初期におけるその整備・変遷過程や運営実態等を明らかにする作業に取り組んでいる。(2)は(1)から派生したもので、朝鮮の前近代史を「海」とのかかわりで再構成するという問題意識から、済州島民の海難関係記録の分析を通じて彼らの海上活動の実態や異国への漂流・漂着をめぐる諸問題、朝鮮時代の海防体制や「水賊」などについて研究している。(3)は(2)をさらに発展させ、広く人と「水」とのかかわりを明らかにしようとするもので、当面は漢江をはじめとする河川の管理・利用という側面を主たる対象として、水運だけでなく、渡船や漁撈、さらには治水・水利といった点も含めて「水環境」史の構築をめざしている。(4)は、朝鮮後期に施行された新税制である大同法を、その運用実態を地方財政との関連に注目しながら研究しているほか、朝鮮初期の財政制度の性格や、朝鮮時代全般にわたる地方財政の運用方式なども研究の対象としている。(5)は日本各地の諸機関に所蔵される朝鮮古文書の調査である。2018年度から2019年度にかけては、これらのうちとくに(2)(3)(4)の課題を中心に研究を進めた。

c 概要と自己評価

まず上記研究課題の(2)については、これまでの研究成果に依拠しつつ、済州島民の海上活動に関する概説「倭寇と済州島」『出島禁止と漂流民』を梁聖宗・金良淑・伊地知紀子（編）、『済州島を知るための55章』に寄稿した。次に(3)については、2010年度から2013年度にかけて「朝鮮半島の「水環境」をめぐる社会・経済・文化の歴史的諸相—漢江を中心として」というテーマで日本学術振興会から科学研究費補助金の支給を受けていたが、2016年度からは、これをさらに発展させた研究課題「朝鮮環境史の創成にむけた河川の管理・利用に関する総合的研究」（基板研究（B）：課題番号16H03486）が科学研究費補助金の交付対象に採択された。2016年4月から2020年3月まで4年間にわたる研究課題であり、その活動として2018年度は洛東江流域および榮山江・蟾津江流域、2019年度は嶺東地方（襄陽、江陵、三陟、蔚珍、寧海、盈徳、浦項、蔚山など）の中小河流域で現地調査を実施するとともに関連資料の収集などをおこなった。さらに2019年度については上記科学研究費補助金の最終年度に当たるため、研究のまとめとして他の研究分担者4人とともに2020年3月に朝鮮史研究会との共催でシンポジウム（報告：森平雅彦「朝鮮中期の洛東江上流域における「淡水魚生活」」；長森美信「17世紀朝鮮土人（ソンビ）と河川空間—潤松趙任道と洛東江—」；六反田豊「環境史からみた朝鮮時代の水利施設—堤堰と川防を中心として—」；石川亮太「近代の開港場貿易と河川輸送」；広瀬貞三「植民地期朝鮮における大同江改修工事と地域社会」／コメンテーター：伊藤亜人氏）を計画したが、新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止を余儀なくされた（2020年度中にあらためて開催予定）。(4)については、14世紀末の朝鮮建国の功労者で、新王朝の設計図を描いた鄭道伝が朝鮮初期の財政制度に及ぼした影響についてまとめた論文「朝鮮初期の財政制度と鄭道伝」を『韓国朝鮮の文化と社会』17に寄稿した。その他、朝鮮王朝初代国王の太祖とその第

5子であり第3代国王となった太宗について、関連記録を整理して人物伝を執筆し、上田信（編）、『悪の歴史 東アジア編下・東南アジア編』に寄稿した。

d 主要業績

(1) 著書

(共著) 上田信（編）、『悪の歴史 東アジア編下・東南アジア編』、清水書院、2018.8

(共著) 梁聖宗・金良淑・伊地知紀子（編）、『済州島を知るための55章』、明石書店、2018.9

(2) 論文

六反田豊、「朝鮮初期の財政制度と鄭道伝」、『韓国朝鮮の文化と社会』、17、102-121頁、2018.10

(3) 学会発表

(国際) 六反田豊「文化財関連日韓学術交流の現況—韓国古典籍を中心として」、シンポジウム「〈日韓共同宣言20周年〉文化財でつなぐ日韓の未来」、東京大学駒場キャンパス、2018.10.21

(国際) 六反田豊、「河世鳳「最近10年来の韓国学界における海洋史研究」に対する討論」、第19回日韓歴史家会議「海洋／海域と歴史」、西江大学校（韓国ソウル市）、2019.11.9

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

(非常勤講師) 学習院大学、「東洋史特殊講義」、2018.4～2020.3

(非常勤講師) 国際基督教大学、「韓国史」、2018.4～2018.6、2019.4～2019.6

(非常勤講師) 成蹊大学、「地域研究A」、2018.4～2020.3

(2) 学会

(国際) 韓国中世史学会、地域理事、2018.3～

(国内) 朝鮮史研究会、編集委員長、幹事、2018.10～

(国内) 朝鮮学会、常任幹事、編集委員、2018.4～

(国内) 韓国・朝鮮文化研究会、運営委員、編集委員長、2018.10～

(3) 学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員

(教育機関) 釜山大学校民族文化研究所、『韓国民族文化』編集委員、2018.3～2020.2

(その他) 公益財団法人東洋文庫、研究員（兼任）、2018.4～2020.3

(その他) NHK 教育テレビ「高校講座世界史」、講師、2018.4～2020.3